

# 宮廷装束 みやび

奈良で「きものの祭典」



宮廷装束をまとして舞いを披露する出演者＝なら100年会館



国文祭 障文祭  
なら2017

着物の魅力を知ってもらおうという催し「きものの祭典」が18日、なら100年会館(奈良市)で開かれた。音楽に合わせて着物を着上げる着付舞や、宮廷装束のショーがあり、来場者約400人はみやびな世界を楽しんだ。

「第32回国民文化祭・なら2017」のイベントの一つ。宮廷装束のショーでは、平安貴族の礼服、十二単と束帯を身にまとう実演

があった。十二単の衣の色などの組み合わせ、当時の風習などの解説もあった。

京都府宇治市の小学3年、坂菜月さん(9)は、十二単を見ようと母親の綾子さん(37)と訪れた。「重そうだけど、重ねた色がとてもきれいやった。私も着物を一人で着られるようになりたい」と話した。

この日披露された宮廷装束は20、24日、奈良市高畑町の名勝大乗院庭園文化館で展示される。帯結びなどを体験するワークショップもある。問い合わせは民族衣裳文化普及協会(0120・029276)へ。

(青山祥子)

# 奈良